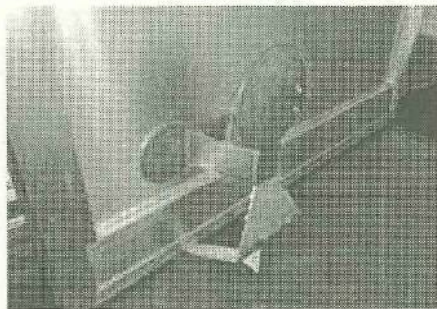


環境コミュニケーション大賞 坂口製作所、優良賞受賞 環境経営レポート部門で



(写真上)地元小学生の工場見学、(同下) 剰余材で作成したドアストッパー



和歌山工場はアルミ溶接で「軽金属溶接構造物製造工場M級」(軽金属溶接協会)の認定を受けている。生産品目は新幹線の部品、空港化学、消防車用水槽、実験動物飼育ラック、食品・製薬工業用トレー

アルミ・ステンレスに特化した板金・溶接

・組立加工業者、坂口製作所(本社・大阪市西成区、社長・坂口清信氏)は、第22回環境コミュニケーション大賞(主催―環境省、地球・人間環境フォーラム)で優良賞を受賞した。同社の「平成28年度環境活動レポート」が環境経営レポート部門の優良賞に選出された。

弊社の同賞受賞は今回で2回目。坂口社長は2月20日、東京都港区の品川プリンスホテルで開催された表彰式に出席し、表彰された。平成28年度環境活動レポートは会社概要、環境方針、環境目標、環境活動計画の取り組み結果とその評価、エコ活動では剰余材で作成したドアストッパーの活用などを紹介。社員教育(エコアクション活動の報告)や地域社会への取り組み(地元小学生の工場見学、中学生の体験学習)なども記載。

坂口社長は巻末で、「優良賞受賞はこれまでの取り組みが間違っていないかったことの証左だと思う。一方で、受賞企業としての責任が生じる。今後は受賞企業の名に恥じない活動を展開していただきたい。反省し改善すべき点は大いにある。特に不良対策は次年度しっかりと結果を出してほしい」と記した。

坂口製作所は1955年の創業で、86年の設立。従業員数が80人。

など。難燃性マグネシウム合金の溶接やクリンプの製造に力を入れている。

鉄鋼新聞
2019(平成31)年3月6日
5面(関西版)